

研究テーマ	〔Ⅱ 材料などのよさや可能性を豊かに感じ取る造形教育を考える〕 自分の思いを進んで表現し、つくりだす喜びを味わうことのできる造形活動の工夫 －小学校第6学年「布と枝のコンサート」の実践を通して－
-------	---

鹿嶋市立三笠小学校 教諭 生井澤 克江

1 研究テーマについて

小学校学習指導要領解説図画工作編では、教科の目標を「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。」と示している。今回新たに「感性を働かせながら」という文言が加えられ、表現及び鑑賞の活動において、児童の感覚や感じ方などを一層重視することが明確になった。また、『『つくりだす喜びを味わう』とは、感性を働かせながら作品などをつくったり見たりすることそのものが喜びであり楽しいことを示している。』とあり、学年目標においても重視されている。

児童は、成長にともないものの見方や考え方が変化していき、興味・関心や表現方法も変化していく。低学年の児童は、自分が思ったことを素直に表そうとし、表現しながら想像や連想が広がっていく。しかし、学年が進むと、写実的な表現に関心をもつようになり、観察的要素が強くなる。また、友達やまわりから自分がどのように見られているのかを意識し始め、自分の思いを自由に表現できない児童が見られるようになる。

そこで、児童がより自分らしい表現を追求していくには、主体的に材料に関わり合っそのよさや可能性を知り、試行錯誤しながら自らの表現を見つけていく時間が大切であると考え。つまり、絵や工作に表す活動の前に、十分に材料のよさや可能性を感じ取り、つくりたいもののイメージを広げること、自分らしい表現ができ、表現する喜びを味わうことができると考える。また、さらに表現に対する欲求を高めるために、友達と一緒に活動し、話し合っ自分の思いを広げたり、活動の過程を鑑賞し合っ作品のよさや改善点に気づいたりすることも有効であると考え。このような取り組みを通して、自分の思いを進んで表現し、つくりだす喜びを味わうことのできる児童の育成を目指していきたい。

2 実践例

(1) 題材名 「布と枝のコンサート」

(2) 題材の目標

布や枝などの特徴を生かして組み合わせながら、構成の美しさを考えて工作に表す。

(3) 題材について

本題材は、小学校学習指導要領解説図画工作編の第5学年及び第6学年の内容「A 表現」(2)「イ 形や色、材料の特徴や構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、表し方を構想して表すこと。」に関連している。色や形、方法や材料について知り、造形的なものを見方や考え方を養う活動で、布や枝などの特徴を感じながら、いろいろと試しながらイメージを広げ、表したいことを工作に表す内容である。材料を集めたり、表し方を試行錯誤したりする中で、感性を豊かにし、材料の特徴を生かして表現できるようにすることをねらいとしている。

本学級の児童（男子17名・女子15名）は、学習に意欲的に取り組み、図画工作に対する興味・関心も高く、全ての児童が図画工作の学習が好きだと答えている。特に、工作に表す活動を好む児童が多く、その理由として、「できあがったときに達成感がある。」「自分の思いを表現できる。」「金づちやのこぎりなどの用具を扱うのが楽しい。」などを挙げている。また、「作品を鑑賞することは好きですか。」という質問に、25名の児童が好きだと答えている。その理由として、「友達の作品を見るのは楽しい。」「自分の表現の参考になる。」などを挙げていることから、作品を楽しんで鑑賞し、感じた作品

のよさや美しさを自分の表現に生かそうという意識が高いことが分かる。その一方で、写實的に表現することが良いという固定観念をもち、自分の作品に劣等感をもってしまう児童や、自分の思いを表現するために必要な基礎的な技能が十分に身につけていない児童も多い。

そこで、本題材の指導に当たっては、つくりたいもののイメージを広げ、自分らしい表現を追求するための手立てに重点を置く。そのために、まずは、主体的に材料に関わる時間を大切にす。本題材では、異なる特徴をもつ「布」と「枝」という2つの材料を使用する。布は柔らかく広がりをもつことから、巻いたり包んだりでき、細く裂けばひも状にもなる。色や模様も豊富で、組み合わせ方で作品の個性を出すことができる。一方、枝は硬く、形を変えることは難しいが、杵や芯などの構造体になり、組み方で動きを表現できる。自ら材料を集めたり、材料に触れたりすることで、材料の特徴を生かした表現の可能性に気づけるようにしていく。

次に、試行錯誤しながら自らの表現を見つけていく時間を大切にす。枝の組み方や布の飾り方をいろいろと試していく中で、形や色、イメージを基に想像をふくらませ、表したいものを考える力や自分らしい表現を追求する力を育てていきたい。さらに、自分の表したいことを思いのままに表現できるように、枝の組み方や用具の使い方など基本的な技能を育てていきたい。

また、製作過程での友達との関わりを大切にす、材料の特徴について話し合ったり、作業の過程を鑑賞し合ったりすることで、友達の表現のよさや面白さに気づき、自分の思いを広げ、作品づくりにいかすことができるようにしたい。

(4) 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
集めた布や枝に触れ、感触を確かめたり、造形的な特徴を感じ取ったりしながら、表すことを楽しもうとしている。	布と枝の特徴を生かそうといろいろ試みたり、つくりたい形や布の飾り方などを考えたりしている。	作りたい形に合わせて枝を組み合わせる形をつくりたい形や布の飾りたり工夫して表している。	自他の作品について語ったり、友達と話し合ったりしながら、作品のよさや表現の工夫などを捉えている。

(5) 指導と評価の計画 (6時間扱い)

※○印は時数

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ②	布や枝などの材料に触れ、枝の組み方や、布と枝の組み合わせを試して作品の構想を練る。 (本時②-1)	・集めた布や枝に触れ、感触を確かめたり、造形的な特徴を感じ取ったりしながら、表すことを楽しもうとしている。 関 【観察】 ・布と枝を組み合わせながら、つくりたいものを思いについている。 想 【観察・作品】
第2次 ③	つくりたいものに合わせて材料を選び、それぞれの特徴を生かして飾るものを作る。	・布と枝などの材料の特徴を生かそうと試みながら、構想を深めている。 想 【観察・作品】 ・枝を組み合わせることができる形を生かしたり、色の美しさを感じたりしながら布を選び、効果を確認しながら表している。 技 【観察・作品】
第3次 ①	作品を見合い、作品のよさや表現の工夫について話し合う。	・自分や友達の作品から、表現の工夫やよさを見つけて、伝え合うことができる。 鑑 【観察・ワークシート】

(6) 本時の展開

①目標

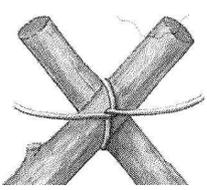
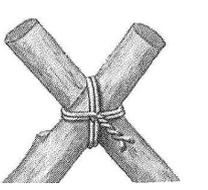
布や枝の特徴に関心を持ち、様々な方法を試みながら、表すことを楽しもうとする。

②準備・資料

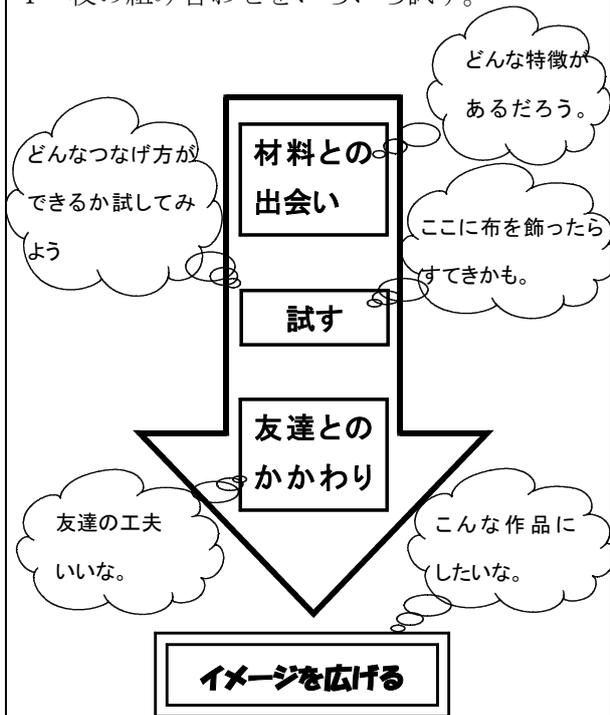
〈教師〉布、枝、麻ひも、園芸用ワイヤー、毛糸、フラワーアレンジメント用ワイヤー、モール、針金、ペンチ

〈児童〉布、枝、モール、毛糸

③展開

学習内容・活動	指導上の留意点・評価 発問		
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>どんな形ができるかな？材料の特ちょうを生かして、いろいろな組み方を試してみよう。</p> </div> <p>2 布や枝などの材料に触れ、それぞれの特徴について話し合う。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> <p>〈布〉 ・柔らかい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸びる ・形が変えられる ・いろいろな色や模様 ・面でできている ・加工された材料 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻いたり、ピンと張ったりできそう。 ・色の組み合わせできれいに飾れそう。 </td> <td style="width: 50%; border: none;"> <p>〈枝〉 ・かたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ざらざら ・曲げると折れる ・色は茶系 ・円柱形 ・自然の材料 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱になりそう。 ・組んだりつなげたりしたらおもしろい形ができそう。 </td> </tr> </table>	<p>〈布〉 ・柔らかい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸びる ・形が変えられる ・いろいろな色や模様 ・面でできている ・加工された材料 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻いたり、ピンと張ったりできそう。 ・色の組み合わせできれいに飾れそう。 	<p>〈枝〉 ・かたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ざらざら ・曲げると折れる ・色は茶系 ・円柱形 ・自然の材料 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱になりそう。 ・組んだりつなげたりしたらおもしろい形ができそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・布や枝などの特徴を生かして組み合わせながら、飾るものをつくることを伝える。 ・実際に作例を見せることで、本題材の課題をつかませ、完成までの活動の見通しをもたせる。 ・枝を扱うときの安全指導を十分に行う。 ・実際に布や枝に触れ、今までの経験では気づかなかった特徴も探るように助言する。 ・材料の特徴をつかむことで、材料の可能性を知り、表現の幅が広げられるようにする。 ・グループで材料の特徴について話し合うことで、自分が気づかなかった材料の特徴や表現の可能性に気づけるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>やわらかい布とかたい枝が出会うとどんな形ができるのでしょうか。今日は、枝の組み方や布の組み合わせ方などいろいろと試してみましよう。</p> </div>
<p>〈布〉 ・柔らかい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伸びる ・形が変えられる ・いろいろな色や模様 ・面でできている ・加工された材料 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻いたり、ピンと張ったりできそう。 ・色の組み合わせできれいに飾れそう。 	<p>〈枝〉 ・かたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ざらざら ・曲げると折れる ・色は茶系 ・円柱形 ・自然の材料 <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柱になりそう。 ・組んだりつなげたりしたらおもしろい形ができそう。 		
<p>3 枝の接合方法や用具の扱い方を知る。</p> <p>〈枝のつなぎ方〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>針金を交差させて引張る。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>縦横に何度か巻いてからねじる。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際につなぎ方やペンチの扱い方を見て見せ、針金などで枝と枝との接合ができるようにする。 ・自分の思いを表現するために必要な基本的な技能を身に付けさせ、表現に生かせるようにする。 ・グループで教え合い、全員が枝のつなぎ方ができるようにする。 ・枝をつなぐ材料にも、色や形などいろいろな種類があることを紹介し、自分の表現にあった材料を選ぶように助言する。 		

4 枝の組み合わせをいろいろ試す。



- ・形や色，組み合わせ方を試し，自分のつくりたい形のイメージがもてるようにする。
- ・友達と活動の過程を見せ合ったり，アドバイスし合ったりすることで，自分の思いを広げ，表現に対する意欲を高められるようにする。
- ・思いついたイメージや使いたい材料は，ワークシートにメモをとり，次時の活動に生かせるようにする。

関 布や枝の特徴に関心をもち，様々な方法を試みながら，表すことを楽しもうとしている。
(観察)

5 本時を振り返り，次時の活動を知る。

- ・本時の活動を振り返ることで，次時の活動に目標をもって取り組めるようにする。
- ・次回は，枝を組んで形をつくることを知らせ，使いたい材料があればさらに集めてくるように指示する。

3 成果と課題

【成果】

- ・事前に題材について知らせ，児童自ら材料集めをしたことで，活動に対する意欲を高めることができた。また，枝は，木によって色や形，触った感じなどに違いがあることに気づくなど，材料の特徴に関心をもつ児童が多かった。さらに，それぞれが気づいた材料の特徴についてグループや一斉で話し合ったことで，自分が気づかなかった材料の特徴や表現の可能性に気づくことができた。
- ・今までの工作に表す活動では，つくりたいものを考えてから材料を集め，作品づくりをすることが多かった。本題材では，試行錯誤しながら材料の色や形からイメージを広げ，つくりたい形を考えていくので，初めは戸惑う児童も見られた。しかし，枝のつなげ方などを試していく中で，皆が夢中になって取り組んでいた。事後の振り返りでは，25名の児童が，いろいろと試しながらつくりたいものを考えてつくるのは楽しかったと答えている。また，枝の組み方を試しているときにつくりたいもののイメージが思いうかんだという児童が多く，試行錯誤する中で，形や色，イメージを基に想像をふくらませ，表したいものを考えることができたと考えられる。
- ・グループ活動を取り入れたことで，自然と作業の過程を鑑賞し合ったり，アドバイスし合ったりする様子が見られた。友達の表現のよさや面白さに気づき，自分の思いを広げ，作品づくりにいかすことができた。また，友だちの会話を交わしながら，楽しい雰囲気の中で活動を進めたことが，作品のイメージを膨らませることにも役立ったと思う。

【課題】

- ・ 枝を組むための基本的な技能を身につける時間を確保したことで、ほとんどの児童は、針金やひもを使って枝をつなげることができたが、しっかりと固定できなかつた児童が数名いた。作品づくりの途中で針金がゆるんで形が崩れてしまい、思うように作品を組み立てることができなかつたことで、作品がうまくつくれなかつたと感じた児童が2名いた。
- ・ 枝の組み方の工夫に比べて、布の飾り方にあまり工夫が見られなかつた。第1次の布や枝などの材料に触れ、枝の組み方や布と枝の組み合わせ方を試して作品の構想を練る活動では、枝の組み方を試す児童は多かつたが、布の飾り方や表現の工夫について試す児童は少なかつた。枝の組み方を試す時間と布の飾り方を試す時間を分けて設定したり、布の飾り方の例を示したりすることで、もっと様々な工夫することができたのではないかと感じた。

参考文献

小学校学習指導要領解説 図画工作編

評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 図画工作】

図画工作学習指導書 指導編 5・6年下 (開隆堂)

<資料 実際の活動の様子>



材料集め 材料との出会い



枝の組み方を練習



組み方を試しながら形づくり



布を飾って楽しい作品に



グループ活動の様子



友だちと相談しながら楽しい雰囲気の中で活動

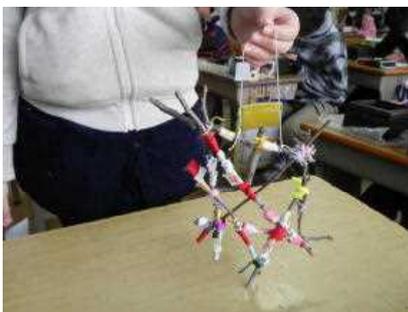
<児童の作品>



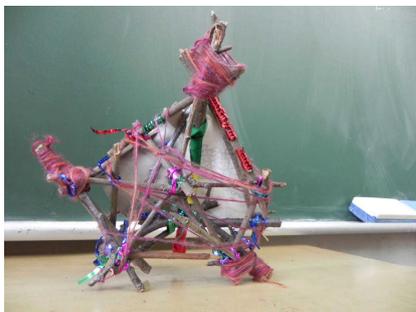
たくさんの枝と布を組み合わせ、作品を見せる角度にもこだわって展示。



初めにつくったお気に入りの形に枝をつけ足して立つように工夫。



色や模様えお工夫して布を飾り、ひもをつけてリース風に。



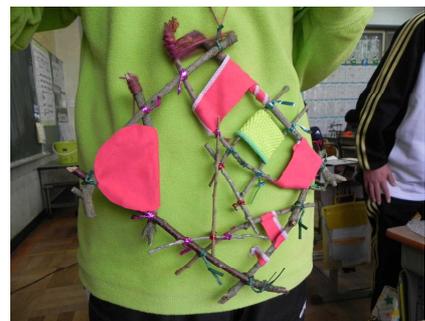
見る角度によってちがう表情になるように、布や毛糸の飾り方を工夫。



たがいちがいに色を変えて、布の配色に工夫。



リボン状にさいた布を飾る。楽しい雰囲気からイメージを広げて題名を「パレード」に。



いろいろな太さの枝を組み合わせ、できた形を生かして布を飾る。

